

水稻生育情報 (No.3)

平成30年6月20日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
TEL:0296-24-9206

【生育概況】

6月中旬はぐずついた天気の日が多く、気温は平年より3℃低く、降水量が平年の140%と多く、日照時間は平年の45%と少なくなりました。今後1カ月は気温が高く、降水量は平年並みか少ない予報となっています。

今年の水稲の生育は、圃場によるばらつきが大きいので、生育に応じた適切な管理を心掛けましょう。

表1 水稻定点調査結果(6月19日現在)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色	
					葉色板	SPAD値
筑西市	5月2日	58	54.5	470	4.7	38.3
一本松	(5月2日)	(60)	(62.7)	(660)	(4.2)	(37.9)
下妻市	4月30日	47	62.4	607	4.3	40.1
加養	(5月1日)	(48)	(60.4)	(569)	(4.6)	(39.0)
桜川市	5月25日	55	31.8	363	4.1	35.4
元岩瀬	(5月11日)	(60)	(48.0)	(486)	(4.4)	(38.6)
桜川市	5月7日	52	56.5	463	5.0	41.0
真壁町飯塚	(5月5日)	(54)	(55.3)	(486)	(4.5)	(38.2)

()内は平成25~29年の5カ年平均値

【これからの栽培管理のポイント】

1. イネ縞葉枯病の防除について

無人ヘリでの一斉防除を実施しなかった圃場では、適用のある薬剤による本田防除を行いましょ。また、飼料用品種などのイネ縞葉枯病抵抗性品種では本病の被害は発生しませんが、ヒメトビウンカは増殖します。抵抗性品種であっても、他のほ場での被害を防ぐために防除を実施してください。

なお、本田での防除適期は6月下旬までです。

防除方法や薬剤等に関してご不明な点がございましたら、お近くのJA各支店か普及センターにお問い合わせください。



ヒメトビウンカ成虫
(茨城県農業研究所提供)

2. 中干しの終了の目安について

現在の生育では、ほとんどの圃場で中干しが出来る状態です。中干しを行っていない圃場では早急に中干しを開始して下さい。

なお、中干し終了の目安は葉色が4(若竹色)以下に落ちたとき(落水してから概ね10日程度)です。終了時の田面の様子は、ひびが軽く入る程度又は足跡に水が少し残る程度です。写真を参考に中干しを終了し、中干し終了後は間断かん水を行って下さい。また、4月中旬に移植した圃場では、幼穂のでき始める時期となるので6月末までには中干しを終了して下さい。



中干し終了時期の目安